



社会福祉法人 千寿会
“らしきBOOK”

年齢や性別、役職などに関係なく、
気づいたことはお互いに共有し、

“働きやすい環境”

をみんなで作っています。

「食へのこだわり」

■色々な形態の食事：

千寿会では『**見て、食べて、おいしい食事**』の提供に努めています。食事形態は、常食、ソフト食、ソフト食2、ゼリー食、ミキサー食など利用者の状態に合わせて提供しています。病気や年齢と共に衰えていかれる方でも最後まで口から食べてもらえるように多職種共同で取り組んでいます。

(エピソード)

ターミナル期の方へ寿司ゼリーを提供した所、しっかり咀嚼して食べられました。この一食では十分な栄養の確保は難しいかもしれませんが、本人の楽しみ、家族の喜び、職員の達成感是十分にあったのではないのでしょうか。また、食べれるのは「今しかない！」と、カレー、ラーメン、鰻のリクエストを叶えるため、家族の協力のもと提供予定です。



「ターミナルケアへのこだわり」

千寿会では利用者・家族の方々が最後まで安心して過ごせる施設として、全事業所でターミナルケア（看取り）まで対応できる施設を目指しています。

令和3年度に法人全体で実施したターミナルケアは36件*でした。内訳は特別養護老人ホーム23件、特定施設入居者介護10件、グループホーム2件、小規模多機能型居宅介護1件と特別養護老人ホーム以外でも多くのターミナルケアに取り組んでいます。 *令和3年度 退所50件

エピソード

写真は3月に法人全体で行った研修の様子です。
今回は、陽光園拠点（美里町）、みんなの家拠点（美里町）、悠優かしま拠点（嘉島町）合同でZOOMを使ったオンライン研修として「事例発表」を開催いたしました。

今回のテーマは「コロナ禍での看取り」として、

- ・特別養護老人ホーム陽光園本館
- ・小規模多機能型居宅介護コミュニティハウスみんなの家
- ・特別養護老人ホーム悠優かしまの3事業所から発表がありました。

コロナ禍での看取りケア

～最後の最後まで味覚を味わって～

陽光園 本館 野口潤也 上川建志

令和3年3月22日

みんなの家小規模での看取りケア

『1日でも長く生きてほしい』

コミュニティハウスみんなの家
小規模多機能型居宅介護
美里青 藤原 佐和子

Kさんのターミナルケア

令和3年3月 法人内研修
特別養護老人ホーム悠優かしま
嶋田 陽介



『まずはやってみよう！』が合言葉。

やりたいことにダメはないのが千寿会

『Aさん 女性 入職1年 介護福祉士』

私の働く事業所の仲間は、一言で言うと皆優しく時に厳しいです。例えば、介護度が高くて利用者さんらしさを大切にしたい、利用者さんへの思いが職員それぞれあるからです。裏を返せば職員に対しても同じ気持ちであると思います。そして、個性豊かなチームであると思います。得意分野を活かして働くことができるのが陽光園であると思います。

私は不器用ですが、それでも利用者さんと一緒になにかを作ることが好きです。併設施設で業務することもあります。入職して一度も私の「これをやりたい」を否定したことはありません。上司は「みんなにアイデアを出してもらったら？」と言います。逆に例えば「技術面のコレが苦手です」と言うと本気でほかの専門職と連携してでも時間を作ってくれます。3Kと言われる業界ですが、私は理事長並びに採用担当者、職員全員、一緒に働くメンバーや利用者さんに対しての3Kは感謝、関心、感動とかそのような言葉しか浮かばないです。

『Bさん 女性 新規入職 介護福祉士』

入職前の見学時、ユニット型特別養護老人ホームの事が印象に残っています。職員が慌ただしく動いていてバタバタしているイメージを持っていたのですが、非常に落ち着いた雰囲気が入居者の方と職員が対面で話をしており、ゆとりを持った対応をしてくれたのが忘れられません。私は、入居者の方と「向き合う時間」が欲しいと学生時代から感じていたので、純粹に「いい職場だな！」と感じました。

入職後は、入居者の方や職員とのコミュニケーションに不安を感じていました。特に職員の間関係について、先輩や先生方から“職場には色々な人がいるからね”等と不安材料をよく耳にしていました(苦笑)。しかし、実際は先輩方からは非常に丁寧に分かりやすく、そしてユニークに教えてもらうことが多く、当初の不安はほとんど感じませんでした。

(専門学校卒)友人と連絡を取り合っていると、担当者もなく、一人役として現場をすることが多く、丁寧に教えてもらえる環境でないこと等を耳にすると、「私は本当に良い職場に来た」と実感します。

『Cさん 女性 入職2年』

- ・**やりがいを感じる**ことは、利用者の方とお話したり、一緒に体操やお遊びで笑顔になって下さるとき。
- ・入浴介助中に、嬉しそうに昔のことを色々話され、「あ～、気持ちよかった。ありがとう！」と言って言われたとき。
- ・**目標とする職員がいる**こと。自分の理想とする職員像に近い、尊敬できる方がいらっしたり、相談すると自分の思いも理解したうえで的確に教えて下さる。
- ・休みの希望やメモリアル休暇があり、子供のイベントに出席しやすく子供の体調不良等の急な用事でも相談すれば、勤務交代などの対応をしてもらえるので、家庭との両立ができる。

『Dさん 男性 入職1年目 介護福祉士』

私は入職して間もないですが、現在は職場の雰囲気などに慣れ楽しく仕事をしています。仕事をしている中で、**今後挑戦したい**ことは、福祉住環境コーディネーターの資格を取得し、在宅生活をされているご家族へ住環境へのアドバイスや施設内の住環境の整備に挑戦したいです。このように、チャレンジ精神をもって取り組めるのも職場環境や仲間のおかげと思っています。

『Eさん 女性 入職2年目 管理栄養士』

同世代が多い職場は初めてで、入職時の印象は“若いチームで勢いとスピード感がある！”と感じました。というのも、入居者や利用者の方の食事と宅配弁当を決められた食数を限られた時間内に調理し、そして、おいしい食事を提供しなければなりません。

当初、不安はありましたが、情報(経験や知識)が豊富であるベテラン上司や先輩がいることで安心して学ぶことができました。全ての方に“食”を楽しんでいただくことへのこだわりの強さ。まだ、その域には達していませんが、楽しみながら力をつけたいと思っています。

『Hさん 男性 勤続6年 介護福祉士』

病院で看護補助を6年経験後に、友人から紹介され千寿会に入職しました。ちょうど結婚したタイミングだったのと、仲間たちがすごく頑張っていたのを見て、自分も腰を据えて仕事をしようと気持ちを新たにしたのを覚えています。

私たちの職場の責任者は理事長になりますが、すごく自由だなと思います。自分の意見が言えて、取り入れてくれるので、忸度せずに発言できますし、“できない理由よりもできる方法を一緒に考えよう！”という姿勢がとても良いですね。

コロナ前にはバーベキューを利用者様と一緒にやりました。理事長に提案したら「いいねえ」と(笑)。介護だからやっちゃいけないとか、そうした固定概念がなく、喜んでもらえるならやろう！というのが千寿会ですね。



利用者様との接し方にマニュアルはありますが、
私たちが最も大事にしていることは、

“マニュアル以外” のところにあたりもします。





笑顔

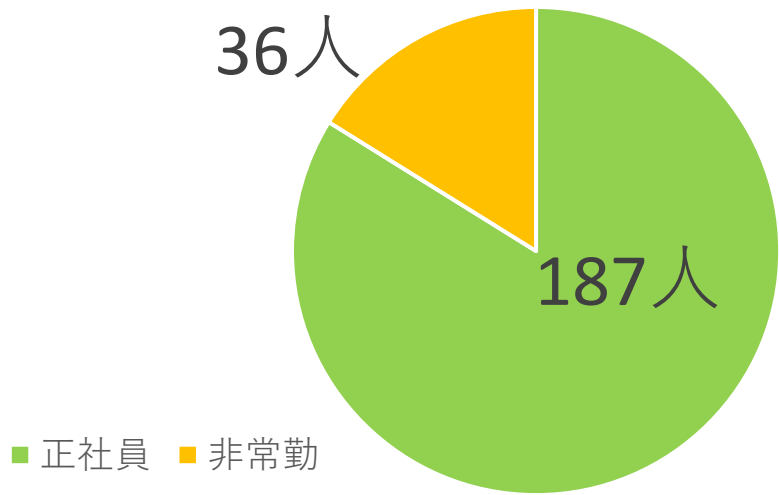


職員への手厚い**福利厚生**や**年 3 回の賞与**、

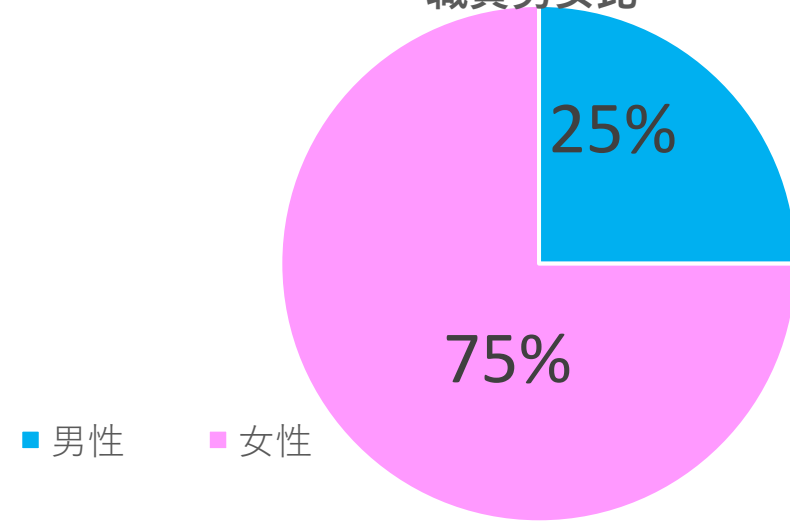
リフレッシュ休暇などが利用しやすいから

家庭と両立ができます

職員数

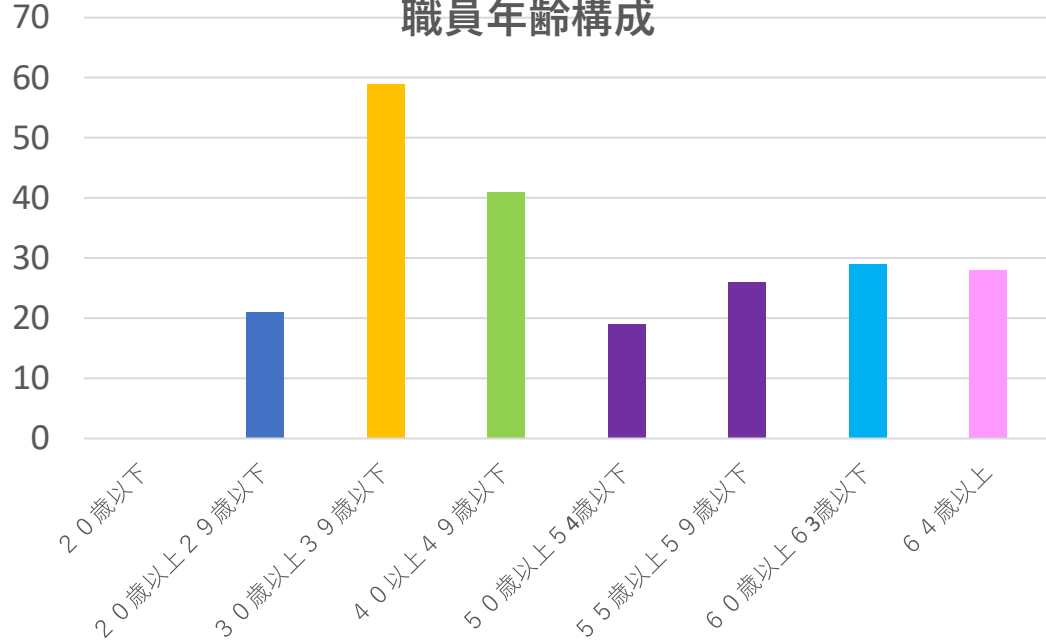


職員男女比

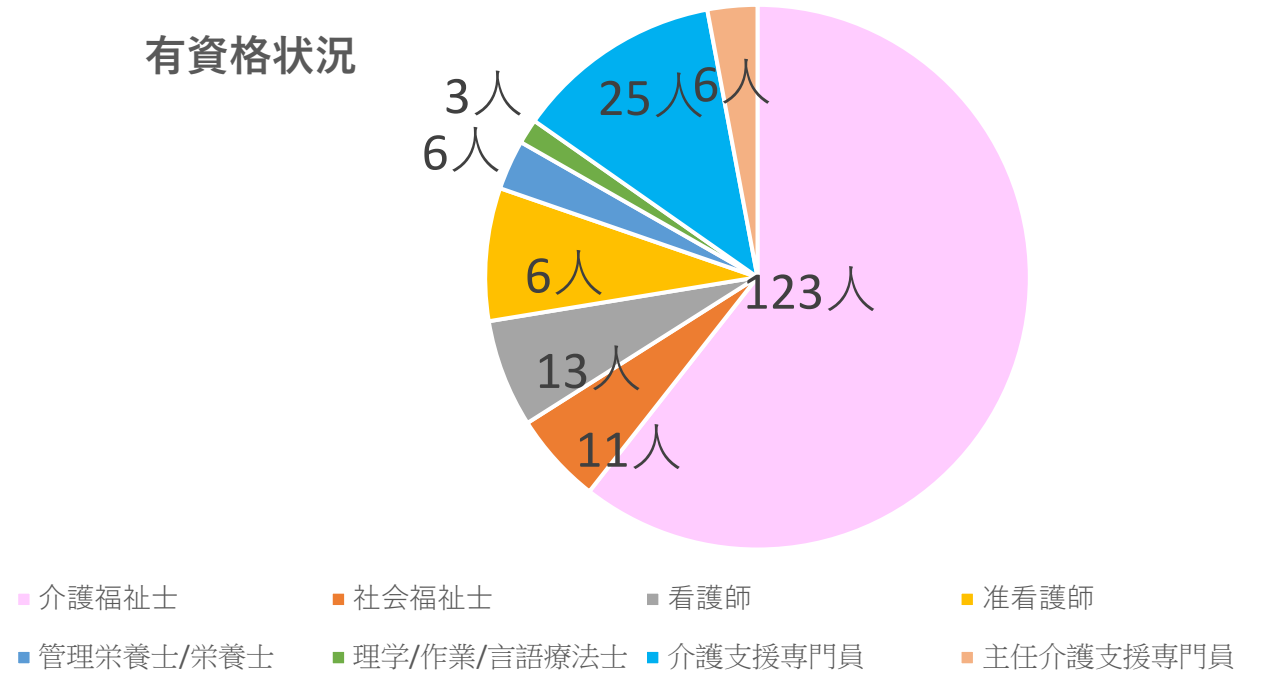


(人)

職員年齢構成



有資格状況



やっぱり利用者様からの

『ありがとう！』

が嬉しいです



「やってみなっせ！」が合言葉。マニュアルを超えたサービスを！



社会福祉法人千寿会

